

木質バイオマスのエネルギー利用に関する見学会

東京の森林に由来する間伐材や林地残材、製材端材などの未利用資源を化石燃料の代替として活用することは、地球温暖化防止等に効果的です。そこで、木質バイオマスのエネルギー利用に関する見学会を、平成29年3月10日(金曜日)に開催しました。

都内自治体関係者、木質バイオマスに関心を持つ都民等20名が参加しました。

講師と参加者との間で活発な質疑応答が行われ、木質バイオマスへの理解が深まりました。



檜原村役場では、檜原村の木質バイオマス事業の取組について聞きました。参加者からは、薪ストーブの導入実績やバイオマス発電の展望などについて質問がありました。



檜原村役場内の喫茶店では、ペレットストーブについて「炎が見えるのでストーブ周りにお客が集まる」「煙も灰も少ししか出ないので掃除は手間なし」などのお話を聞きました。



薪燃料製造施設では、檜原村内で伐採され、建築用には使えないような丸太から薪を製造する過程を見学しました。



ひのはら四季の里では、昼食後に薪ストーブについて、「二重煙突のため燃焼効率が良い」「煙突掃除は年1回」などのお話を聞きました。



日の出町にあるペレット工場では、製材の端材やかんな屑などを粉にしたものが、機械で粒状に圧縮されてペレットとして製造されるのを見学しました。

【見学会の行程】

- ・ 9時30分 武蔵五日市駅集合
- ・ 10時～ 檜原村役場3階会議室
- ・ 10時40分～ 檜原村役場1階喫茶店
- ・ 11時15分～ 薪燃料製造施設
- ・ 11時50分～ 薪の乾燥場所
- ・ 12時30分～ ひのはら四季の里
- ・ 14時10分～ ペレット工場
- ・ 14時40分 武蔵五日市駅解散